

タイトル	簡易プレス機（その９）	区 分	- C -
		No .	7
従来のシステム			
〔図〕		〔作動状況説明〕 1．定常運転 スライド板の所定の位置に加工材料をセットする。 スライド板を挿入する。所定の位置まで挿入されると位置決めリミットスイッチが作動し、運転が可能となる。 スイッチを「下降」側にするすると圧縮空気ラインの電磁弁が作動して、エアシリンダーに直結した可動部が下降してプレスが行われる。 スイッチを「上昇」側にして可動部が上昇したことを確かめた後、スイッチを「止」にする。 スライド板を引出し、加工材料を交換する。 安全カバーの開口部は、加工材料を載せたスライド板がやっと通る程度の高さで、手を挿入することはできない（指を挿入することは出来るがこの場合でも可動部迄は届かない）。 2．非定常作業 プレス屑、ホコリ等によりスライドを正常の位置に挿入できなくなるので、定期的あるいは不定期に安全カバーを外して清掃する。	
〔危険要因、問題点〕 1．非定常作業の清掃時、誰かがスイッチ操作をするとき			

タイトル	簡易プレス機（その９）	区 分	- C -
		No .	7

「安全確認型」システム

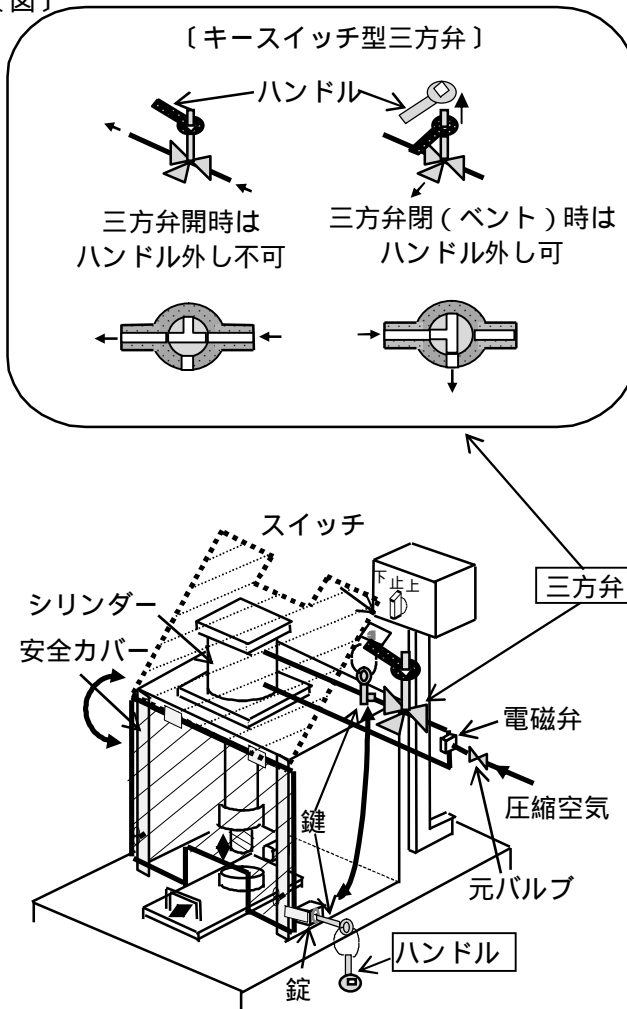
〔安全の保証条件、保証の仕方〕

安全カバーを開ける時にはシリンダーの駆動圧縮空気が遮断・放出されていることを保証するため、シリンダーを下降させる側の圧縮空気配管に設けた三方弁（ベントバルブ）が、大気放出の状態でないとき安全カバーの錠を解除できないようにする。

〔方式・手段〕

駆動用圧縮空気配管に設置した三方弁（ベントバルブ）のハンドルと安全カバーに取り付けた錠の鍵とを鎖等で一体化させる。

〔図〕



〔安全対策の説明〕

1. 安全カバーは上下に開閉する扉方式とし、施錠する。
2. シリンダーを下降させる駆動用圧縮空気配管にベントバルブ（三方弁）を設置する。
3. 三方弁のハンドルは、弁が開（シリンダーを下降させる側に圧縮空気圧がかかる状態）の時には外せず、弁が閉（シリンダーを下降させる側の圧縮空気圧が大気放出される状態）の時に外せるタイプのものを使用する。
4. 三方弁のハンドルと安全カバーの鍵とを鎖等で結合させる。

注）ペンチやニッパー